

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
AM14Z003	心理行動科学 (Psychology and Behavioral Science)	基礎分野科目

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	前期	水・2限	上野 徳美 内線： E-mail : ueno@oita-u. ac. jp

#### 【授業の概要・到達目標】

この授業は、医療者を目指す学生に必須の素養とされている心理学の入門基礎コースである。心理学は、人の心や行動の仕組みや法則を実証的に研究する学問であり、行動科学とも呼ばれる。そのような意味を含め、授業科目名を心理行動科学とした。心理学は自己や他者の理解、そして人間関係の理解と改善などを目指す学問であると同時に、人間の福祉の向上を図る実践的学問でもある。

本授業では、心理学の基礎的な知見や成果を中心に概説するとともに、心理学と医学・医療とのかかわりなどについて学んでもらいたい。心理学がいかに私たちの日常の行動や生活、人間関係などに深くかかわる学問であるか、また、どのような方法を用いて人間の心や行動を理解しようとしているかを学んでもらいたい。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 授業内容の主体的な学習を通して、自分自身や他者を心理学的観点から理解する態度を身につける。	○	○		○		
2. 医療者として必要な人間理解、人間関係理解のための心理学的、行動科学的視点と方法論を身につける。		○		○		
3. 講義で学んだ知見や方法論を将来の医療現場でどのように応用、活用可能かを考えることができる。	○					

#### 【授業の内容】

1	心理学、医学・医療とのかかわり
2	認知・記憶の働き、認知・記憶の病理
3	学習と行動変容、社会的学習
4	感情・情動とは、感情と動機づけ
5	現代社会とストレス
6	ストレスと心の健康、病
7	心の生涯発達
8	心の生涯発達と発達障害
9	性格・パーソナリティ
10	性格・パーソナリティの形成、パーソナリティ障害
11	対人行動の心理
12	対人関係の心理
13	集団行動の心理
14	集団の意思決定とその功罪
15	まとめと質疑応答

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業では質問や考える時間を設け、自分の意見や考えも述べさせる。また、心理検査やグループワークなどを取り入れて授業への積極的参入を促す。小レポートも課し、授業以外でも能動的に学習してもらう。	【その他の工夫】 ミニッツペーパーの活用
B：意見の表現・交換	○		
C：応用志向	○		
D：知識の活用・創造	○		

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等をもとに予習し、講義内容の理解を促す (12h)。
事後学修	教科書や参考文献、配付資料をもとに復習し、提示された課題について学習する (12h)。

#### 【教科書】

櫻村正美・野村俊明編 『医療系のための心理学』 講談社、2020 ISBN978-4-06-518093-8

<b>【参考書】</b>								
授業ごとに参考書を紹介する。								
<b>【成績評価方法及び評価の割合】</b>								
評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7
小レポート	10%	○	○	○				
筆記試験	80%	○	○	○				
ミニッツペーパー、授業への取り組み	10%	○	○					
上記の評価の割合は目安であり、総合的に評価する。								
<b>【注意事項】</b>								
進行状況により、授業内容や順番を一部変更する場合がある。								
<b>【備考】</b>								

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	大分県高等学校のスクールカウンセラー、大分産業保健総合支援センターのメンタルヘルス相談員	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	患者・クライアントの心と行動の理解、対人関係やコミュニケーションのとり方、心の健康と病などに関する有用な知見や方法論について講義し、受講生の理解を深める。	
授業形態		